

町民のみなさんと歩む 木古内町 議会だより

vol.139

平成29年8月1日発行

- 発行／木古内町議会
 - 編集／議会だより編集特別委員会
- 〒049-0422北海道虻田郡木古内町字本町218
TEL.01392-2-3131 FAX.2-3622

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

木古内町議会

検索

いよいよ夏本番 ～町民プール～

contents

旅費関連条例で活発な議論 6月定例会 — P2

2名の議員が町政を問う — P5

「いさりび」「恵心園」経営統合協議の進捗 — P8

スマホから本議会中継 — P11

町民インタビュー 花嫁募集中 — P12

可決された
主な議決事項

- 議案第1号
平成29年度木古内町一般会計補正予算（第2号）
 - 議案第2号
平成29年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
 - 議案第3号
平成29年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
 - 議案第4号
平成29年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）
 - 議案第5号
平成29年度木古内町水道事業会計補正予算（第1号）
 - 議案第6号
平成29年度木古内町介護老人保健施設事業会計補正予算（第1号）
 - 議案第7号
平成29年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
 - 議案第8号
平成29年度木古内町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
 - 議案第9号
木古内町国民健康保険事業基金条例の制定について
 - 議案第10号
木古内町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について
 - 議案第12号
木古内町観光交流センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
 - 議案第13号
木古内町産業会館耐震改修工事請負契約の締結について
 - 議案第14号
財産の取得について
 - 議案第15号
木古内町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
- ※議案11号は3Pに記載のとおり

旅費関連条例で

活発な議論

討論・採決の結果 原案可決



平成29年6月定例会は、6月20日に開催され、平成29年度一般会計のほか7会計の補正予算、条例の改正等の議案4件、工事請負契約1件、財産の取得1件、同意案10件、計画の変更1件、報告4件、発議案2件、意見書案2件が可決されました。補正内容は、旅費及び費用弁償等の改定に伴う旅費増額分の計上の改定には、賛否の意

見が出され、賛成多数により原案のとおり可決されました。（詳細次ページ）
また、一般質問では、鈴木議員、平野議員の2名より質問が出され、活発な議論がされました。（詳細5ページ以降）
なお、発議案では、議会だより編集特別委員の任期（2年）満了により、特別委員会の設置及び委員が選任され、委員長に鈴木慎也

氏、副委員長に相澤巧氏が選出されました。

行政報告

後期高齢者医療保険料及び国民健康保険税に係る軽減判定の誤り

厚生労働省は後期高齢者医療保険料の軽減判定について、電算処理システムの設定に誤りがあり、全国的に一部の被保険者に誤りが発生していると公表しました。

これに伴い、当町においても3件の誤りが発生し、保険料が還付される見込み（追加徴収なし）で、後日、担当職員が対象者を訪問し、謝罪と詳細説明を

条例制定等

国民健康保険事業基金条例の制定

平成30年度から国民健康保険の運営主体が都道府県に移管されることに伴い、新制度移行後も国民健康保険事業の安定した財政運営を図るため、基金を設置する条例が提案されました。

質疑内容

竹田議員 予備費から基金8千万円の積立を行う根拠と他町村の状

況はどうですか。また、心配される保険料率をいつごろ示すことができますか。

吉田町民課長 渡島管内では2市が基金条例がなく、その他の町は設置されています。北海道の仮算定が9月頃行われるため、その結果を踏まえ国保運営協議会で協議し、ある程度決めてから示したいと思えます。

大野副町長 基金化をして予備費のように柔軟な対応ができるのかというご指摘だと思います。重傷患者などにより保険給付が増えた場合などは、基金の取り崩しも可能であり、より安定的な運営をする目的としています。

旅費の支給額を増額

旅費の宿泊費と現状の実費額との乖離を解消するため、国のなどの基準にない旅費の増額改定がされました。

主な改正内容

【特別職等 宿泊料】
8,000円→11,800円

【一般職 宿泊料】
8,000円→9,800円

質疑内容

平野議員 出張の際に旅費支給額を上回り、自己負担が発生している現状はありますか。

若山総務課長 2〜3割程度の職員に不足が生じている状況です。

竹田議員 特別職と一般職で差を付けた考え方を説明ください。

若山総務課長 中央行動など都心への出張が多い点などを考慮し、設定されています。

鈴木議員 不足分は精算されていないようですが、不足分の実質的な金額は算出できますか。

大野副町長 実際のお金は算出していません。

これまで、財政健全化により、旅費についても削減してきました。この度、人事院規則や物価を反映させ、削減していたものを元に戻すものでありますのでご理解ください。

討論の内容

【反対討論の要旨】

・経費節減は半永久的に続ける必要があり、精算行為がない状況や実態の把握がされていない中での増額提案は納得できない。

【賛成討論の要旨】

・平成19年度より財政健全化により旅費をはじめ、あらゆるサービスなどの経費を削減してきました。一つひとつ戻していくことも必要であり、2〜3割のかたが実費負担をしている状況は、問題であると思えます。

補正予算

一般会計

賛成 5議員
反対 4議員

主な内容は次のとおりです。歳出では、上

架進水船台(※1)整備に係る補助金100万円、都市計画道路環状線通整備事業通信ケーブル移設補償費120万円、渡島西部広域事務組合負担金23万8千円、木古内中学校創設70周年・統合50周年記念事業補助金50万6千円、トレーニング器具購入費171万6千円の追加補正などです。旅費改定に伴う増額分を含め歳入歳出の補正予算総額は、それぞれ899万2千円を追加し、39億9328万8千円となりました。

水道事業会計

旅費及び費用弁償等の改定に伴い1万3千円を追加し、収益的支出総額が1億5550万6千円になりました。

国民健康保険特別会計

旅費及び費用弁償等の改定に伴い3万2千円を追加し、歳入歳出予算総額8億8693万3千円になりました。

後期高齢者医療特別会計

旅費及び費用弁償等の改定及び還付加算金に伴い歳入歳出予算総額1億7201万5千円になりました。

国民健康保険病院事業会計

旅費及び費用弁償等の改定に伴い30万2千円を追加し、収益的支出総額が15億9415万7千円になりました。

介護老人保健施設事業会計

旅費及び費用弁償等の改定などに伴い3万5千円を追加し、収益的支出総額が4億697万3千円になりました。また、資本的収入及び支出では、企業債で210万円を追加し、収入総額を2313万9千円、施設改修に伴う設計委託料として、210万6千円を追加し、支出総額が6087万4千円になりました。

介護保険事業特別会計

旅費及び費用弁償等の改定に伴い8千円を追加し、歳入歳出予算総額が7億126万9千円になりました。

スポーツセンターにランニングマシンを導入

(※1) 上架進水船台…漁船を修理する際の船上げ台。

旅費及び費用弁償等の改定に伴い総額309万円になりました。

同意案

木古内町農業委員会委員を任命する(※2)ことについて提案があり、10名の委員を満場一致で同意しました。



岡山 徹さん (建川地区)



岸 智美さん (鶴岡地区)



森永 康男さん (大平地区)



手塚 宣彰さん (瓜谷地区)



川瀬 雄二さん (大川地区)



東出 雅史さん (鶴岡地区)



鈴木 了介さん (新道地区)



江川 スエ子さん (中野地区)



林 イク子さん (新道地区)



多田 幸広さん (中野地区)

発議案

議会閉会中の所管事務調査項目の承認

議会閉会中の総務・経済常任委員会所管事務調査項目を承認しました。

【総務課】

・工事契約について (現地調査含む)

【まちづくり新幹線課】

・人口減少対策について

・観光事業 (観光交流センター、広域) の現況について

【産業経済課】

・観光事業 (町内) の現況について

・町有林の現況について (現地調査含む)

【保健福祉課・病院事業】

・老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合について (継続)

その他緊急を要する課題について

議会だより編集特別委員会の設置及び委員の選任

議会だより編集特別委員会の設置及び委員の選任について次のとおり決定しました。



相澤 巧 議員 (副委員長)



鈴木 慎也 議員 (委員長)

委員長 鈴木 慎也
副委員長 相澤 巧
委員 新井田 昭男
竹田 努
手塚 昌宏



手塚 昌宏 議員



竹田 努 議員



新井田 昭男 議員

※新体制の抱負など詳細は11ページへ

(※2) 農業委員の任命…法改正により農業委員の選挙制等から町長任命制に変更されました。

一般質問

2名の議員が

町政を問う



鈴木 慎也 議員

- 1 医療・福祉の食について
- 2 給食センターの多機能化
(仮称総合給食センター)について

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



大森町長



平野 武志 議員

- 1 木古内町「町民栄誉賞」の条例・規則の改正について
- 2 人口減少対策の具体的取り組みについて



野村教育長



鈴木 慎也 議員
suzuki shinya

問 地元食材、地元業者の活用を

答 独立採算制の観点から適切でない —— 町長

医療・福祉の食を地元食材で出来ないか

医療・福祉の食を町外の外注業者だけでなく、「福祉の町きこない」として地元食材や地元業者との協力連携で運営される環境づくりが必要と考えます。次の事項について町長及び病院事業管理者の見解を伺います。

(1)業者の選定経緯と高齢者の医療福祉の食事助成の検討

大森町長 現在老健いさりびについては、クックチル方式(※1)を採用しており、その特徴として厳格な食材や温度管理、衛生管理の向上があり、マニュアルに基づく調理が必要であることから、見合わせを実施しただえで業者に全面委託しています。

また、地元業者、地元食材を優先した場合費用が増えることが予

想され、介護報酬制度の基準を大きく上回り、地方公営企業法の「独立採算性」の観点から、運営上適切でない判断しています。

宅配サービスや炊き出しなど多機能化を

給食センターは、今後食数の減少や施設の老朽化などが懸念されます。それに反して、宅配サービスなど高齢者を対象としたニーズの増加、災害時の炊き出しなど、様々な機能が求められてきます。

これらから、計画的に「総合給食センター(仮称)の新設及び増設」を検討すべきと考えます。町長及び教育長の見解を伺います。

野村教育長 宅配サービスは、学校給食の提供と異なり、現状の設備、体制では供給できません。また、現状は民間業者がサービスをしており、新設、増設は考えていません。

大森町長 施設設備の問題のほか、町内の高齢者を対象とした調査では、宅配サービスのニーズがないことなどから、必要性はないと考えています。

再質問 今後ニーズが増えた場合、実施の可能性はありますか。

大森町長 ニーズ調査から必要と判断された場合は、前向きに検討していきます。



徹底した衛生管理が行われている給食センター

(※1) クックチル方式…加熱調理した食品を急速冷却し、喫食時に再加熱する調理システム。



平野 武志 議員
hirano takeshi

問 子育て世代をターゲットに 移住対策の強化を

答 限られた財源 バランスに配慮し施策を進める —— 町長

移住対策を提案 します

平 成27年12月定例会に同様の質問をしましたが、今回はその検討内容を含め、次の子育て世代をターゲットにした移住対策案を提案しますので、町長の見解を伺います。

- (1) 空き家バンク制度の策定
- (2) 出産祝い金制度の導入
- (3) 保育料・学童保育の無償化
- (4) 小・中学校の入学祝い金制度導入
- (5) 義務教育期間の教育費無償化
- (6) 高校生までの教育費無償化
- (7) 移住者への住居や車の両の助成制度

大森町長

子育て世代をターゲットにした移住対策は、多くが給付事業になり、恒久的な財源負担が伴うことから、慎重に対応してい

きます。人口減少対策は、特定の分野に偏ることなく全体のバランスも考慮し、当町に適した施策の推進に努めていきます。

再質問

移住施策は、将来への投資と考えています。特に空き家バンク制度は、財源負担が伴わないものですので、まず第一に取り組むべきと考えます。

大森町長

空き家バンクについては、状況を把握していますので、どう発信していくかが問題です。PR冊子、メディアの活用をはじめ

め、その他の対策においても、将来に向け住んで良かったと思われるよう、施策の反映に努めていきます。

「町民栄誉賞」条例 規則の改正を

町 民栄誉賞は、広く町民に敬愛され、町の名声を高めることに貢献している個人を讃えるものと思います。しかし、該当者が出ていない状況です。多くの受賞者を選考できるように改正すべきと考えます。町長の見解を伺います。

町民に敬愛され、町の名声を高めることに貢献している個人を讃えるものと思います。しかし、該当者が出ていない状況です。多くの受賞者を選考できるように改正すべきと考えます。町長の見解を伺います。

再質問

選考基準は、明確ですか。選考委員会に諮られるまでの経緯・現状をお知らせください。

大森町長 推薦

されることが多いです。著しく顕著な活躍をしていた場合においても、推薦がない場合には行政から委員会へ諮るケースもあります。



町の魅力や施策が記載されている移住・定住パンフレット(全16P)

定例会 一般質問 常任委員会 お知らせ

総務・経済 常任委員会 レポート

6月定例会において 「所管事務調査報告」 が行われました。

総務経済常任委員会は3月定例会以降、所管事務調査を3回にわたり開催し、6月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

事務調査の項目

第11回 3月28日開催
総務・経済常任委員会

- 町民課
・放課後児童健全育成事業（学童保育）について（現地調査）
- 建設水道課
・公共施設等総合管理計画及び公共下水道全体計画について

第1回 5月11日開催
総務・経済常任委員会

- 保健福祉課
- 病院事業
・老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合について

第2回 6月6日開催
総務・経済常任委員会

- 生涯学習課
・木古内町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について
- 保健福祉課
- 病院事業
・老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合について（継続）
- 産業経済課
・プレミアム商品券発行事業について

「いさりび」「恵心園」経営統合を協議

援助策を含め 双方が納得できる方向性を

【所管事務調査報告】

老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合について

老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合（合併）協議が進められ、基本合意書の締結までの進捗が示された。これも平成29年第1回定例会の所管事務調査報告で述べ

ているが、施設利用者や家族、そして両施設の職員や関係者が納得し、満足のいく方向性を示すことが絶対条件である。

病院事業全体の経営を重要視することは当然ながら理解するものの、この経営統合という大変革を進めるにあたり、福祉の町「木古内町」として、施設利用者等への大胆な援助等を含む施策の協議・検討を引き続き求める。

公共施設等総合管理 計画及び公共下水道 全体計画について

平成28年度末に完成版の公共施設等総合管理計画及び公共下水道全体計画が示された。

公共施設等総合管理計画については、平成29年第1回定例会での所管事務調査報告でも述べたとおり、将来の健全な財政運営を図るため、計画実施の基となる個別施設計画の作成が急務である。

公共下水道全体計画については、大幅な見直しがあり公共下水道の整備が行われない地域も案として出された。

それらの地域は、環境衛生の観点から個別浄化槽や小規模浄化槽の設置について、我が町の方針や援助施策の策定が急がれる。また、整備の年次については、財政計画と照らし合わせる短縮も考えられる。

今後開催される下水道事業再評価委員会では、これらの意見も踏まえ協議・検討された新しい公共下水道全体計画となるよう期待する。

現在の老健「いさりび」へ移転し経営統合を協議している特別養護老人ホーム「恵心園」（大平地区）



質疑要旨

オープンキッチンにするべきでは

竹田委員 学童保育施設内を見ましたが、キッチンスペースが対面式でないため、子どもたちの把握に支障がないですか。



学童保育内キッチン・休憩スペース

吉田町民課長 そこに先生方が常時入っていることはなく、子どもたちが体調を崩したときなどに休ませるスペースとして、確保されています。

公共下水道全体計画が示されましたが

平野委員長 公共下水道の整備されない地域が示されましたが、公平な浄化槽設置に係る補助制度の確立をお願いします。

大野副町長 再評価委員会での議論を考慮し、町の補助制度を示していきます。



下水道工事が行われている港地区

新井田委員 公民館の避難施設機能としての評価が低いですが、原因は何ですか。

平野主査 避難時に必要な飲料水や毛布など、十分な量を保管しておくスペースない点や高齢者などは、和室で膝が痛く座れないこともあったため、再度足りないものを点検する必要があると判断したためです。

福嶋委員 現時点での今後のスケジュールと経営形態について再確認したいのですが。

武藤包括ケア推進室長 平成30年4月1日から老健を廃止し、特養として運営する予定です。特養については、80床で、その他にショートステイを8床予定しています。

特養・老健はどうなっていくのか

又地委員 恵心園入所者は、今後個室の基準になることにより、料金の値上げが考えられますが、入所者等への説明はどのようになりますか。

大野副町長 入所者家族等へは、低所得者への減免措置の活用なども含め、今後説明をして理解していただきたいと考えています。



特別養護老人ホーム「恵心園」(大平地区)

プレミアム商品券 買えない人も

鈴木委員 防災無線等での周知徹底はされると思いますが、購入希望者で足腰が不自由なかなどへのサポートは考えていますか。

木村産業経済課長 今のところ事業主体の商工会では、考えていないと思います。昨年の売り切れ時間では、商工会で13時頃、その他の地域で15時頃と思います。現状を把握し商工会と相談したいと思います。



プレミアム商品券発売日長蛇の列 (商工会)

松前半島道路整備と地方財政強化に係わる意見書 関係大臣等へ提出

6月定例会では、意見書案2件を原案のとおり可決され、内閣総理大臣のほか関係大臣等に提出しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方財政の充実・強化を求めるため、社会保障の予算確保など7項目にまとめ、意見書を提出しました。

松前半島道路の整備促進を求める意見書

松前～木古内間の唯一の交通路線である国道228号は、通行止めになること多く、救急搬送や地域経済の不安となっていることから、地域高規格道路の事業化に係る意見書を提出しました。



松前までの唯一の交通網国道228号

※意見書とは…

国会や関係行政機関へ提出するもので、法的な拘束力をもたないが、住民の代表である議会の総意として尊重されます。

お知らせ

NEWS & INFORMATION

意見書名・提出者

【地方財政の充実・強化を求める意見書】

提出者 相澤 巧議員
賛成者 福嶋 克彦議員
賛成者 鈴木 慎也議員

【松前半島道路の整備促進を求める意見書】

提出者 吉田 裕幸議員
賛成者 新井田昭男議員
賛成者 平野 武志議員

北海道町村議会議長会議員研修会 7月4日

7月4日、札幌市において北海道町村議会議長会議員研修会が開催され、当議会からも参加しました。研修内容は、国際情勢の変化に伴う日本経済に与える影響や今後の日本政治の動向など、2名の講師により解りやすい講演をいただき、実りある研修会となりました。



全道より1,800名が集まる
北海道町村議会議長会研修会

渡島西部四町議連協研修視察 7月11日～13日



研修視察に参加した
渡島西部四町の議員

7月11日から3日間、渡島西部議連協において栃木県那須町と長野県上田市への研修視察が実施され、当議会からは吉田副議長、佐藤議員、福嶋議員の3名の議員が参加しました。

那須町では、都心より高齢者が移住するC C R C (※1)の取組の説明を受け、上田市においては、ここ数年観光客が増え続けている観光振興の取組の説明を受けた。

渡島各町にとって喫緊の課題である地域振興のヒントを学びました。

研修会報告2件

○北海道町村議会議長会議員研修会

日程 7月4日(火)
場所 札幌市
参加者 議員9名
講師

・慶応義塾大学教授
教授 金子 勝氏
「トランプ政権と日本経済」

・日本放送協会解説
副委員長

島田敏男氏
「日本政治の昨日・今日・明日」

○渡島西部四町議連協研修視察

日程 7月11日(火)
～13日(木)

場所 栃木県那須町
長野県上田市

内容 日本版C C R Cの取組
地域観光振興など

参加者 佐藤議員
福嶋議員
吉田副議長

(※1) C C R C…主に都心より高齢者が地方に移住(入居)し、終身で過ごすことが可能な生活共同体(集合住宅)。

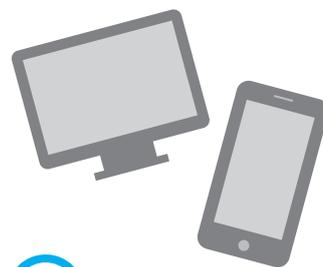
本議会の様子が あらゆる場所から視聴できます！

本議会の様子をインターネットでライブ中継しています。

パソコンやスマホから、気軽に視聴できます。

また、ライブの時間帯に視聴できないかたでも、録画放送（1ヶ月程度）も行っていきますので、是非ご覧ください。

なお、視聴方法は下記のとおりとなっています。



1



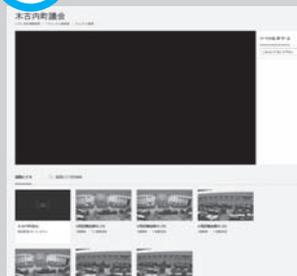
町公式WEBサイトのトップページ右側の木古内町議会をクリック

2



木古内町議会ページ最下部の「議会ライブ中継」をクリック

3



ユーストリーム社サイトの木古内町議会チャンネルが表示されます

議会だよりの編集委員が選任されました。 「家族みんなの議会だより」町民目線の編集に心がけます。

議会だより編集特別委員会委員長の鈴木です。

副委員長として二年間先輩議員からたくさんのご指導をいただきました。

これからも、議会だよりの伝統を重んじ、議会だよりの本来の役割を果たす為に、町民の皆さんの声を反映させた議会だよりをお届けしたいと考えています。

また、新テーマを「家族みんなの議会だより」とし、編集委員一同、家族一人一人に議会活動が伝わるよう取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。



写真左から 竹田委員、手塚委員、鈴木委員長、新井田委員、相澤副委員長

町民インタビュー No.4



～ 老若男女 木古内町民のインタビューを発信します ～



プロフィール

ふなお しんた
船尾 森太さん (39歳)

札幌地区在住 独身
特別養護老人ホーム「恵心園」に勤務
地域ボランティア団体「札幌やる会 (がい)」
の二代目会長

「恵心園」へは約13年勤務、ボランティア活動でも地域の活性化に貢献しています。
独身ですが結婚願望があり、「将来は子ども3人くらいほしい」と少子化対策への想いも語ってくれました。この笑顔にピーンときたかた、ご紹介していただけるかたは、ご連絡をお願いします。

福祉施設で働く仕事のやりがいは？

入居者やその家族の皆さんが安心できる施設づくりを目指しており、その過程で満足してもらった時が一番やりがいを感じます。微力ですが入居者も家族も職員も幸せに思える環境づくりに、貢献できたら嬉しいです。

地域活動の目標は？

本数は少ないですが札幌には梅と桜の公園があります。今後、福祉の経験と地域活動の成果として、梅や桜の本数を増やし、高齢者の皆さんをお花見に招待できたら嬉しいです。

議会へ期待することは？

6月定例会のインターネット中継を拝見しましたが、行政側の答弁でお金(予算)の大切さは感じましたが、予算のみの判断ではなく、町民にもわかりやすく、納得のできる議論を求めます。これからも町民の声を届けてくれるよう議会に期待しています。

(インタビューアー：鈴木委員長)

編集後記

■今年も暑い日が続いています。熱中症対策として水分と塩分をこまめに補給するようにしましょう。

■全国街路事業コンクール優秀賞・まち交大賞と二つの栄誉ある賞を受賞でき大変嬉しく思います。今後とも更なる町の発展のため鋭意努力をしなければなりません。

■平成29年度に生まれた赤ちゃんが未だ数名しかおらず、今までで一番少なくなる可能性があります。昔の人は「子は宝」と言ったものですが、本当にその通りだと思えます。少しでも将来を担う子育て世代が増え、子供たちの笑い声が響きわたるような町づくりをしなければなりません。

議会だより編集特別委員会
委員長 鈴木 慎也